

教会学校 教案ガイド

教師メモやメッセージアウトラインを読む前に必ずディボーションをしましょう。

1. みことば

祈りながら今週のテキスト(聖書箇所)を何度も繰り返し読んでください。また、今週の暗唱聖句を決定して、覚えましょう。

2. 主題の読み取り

今週のみことばの中心テーマを自分のコトバで、1つの文章にまとめて書きあらわしましょう。

例 ○: イエスさまは、弟子たちがイエスさまを救い主と信じるようにカナで奇跡を行いました。(×: カナの婚礼と奇跡)

3. 教えられたこと

今週のみことばを通して、神さまがあなたに語ってくださったことを書きあらわしましょう。

4. メッセージの作成

◇「教師ノート」と「メッセージアウトライン」を参考にしてください。

◇注意深く聖霊さまの導きに従いましょう。

教会教育部公式サイト <http://ce.ag-j.or.jp/>

教会の働きのためにご自由にお使いください。営利目的での使用は禁じます。すべての内容の著作権は、日本アッセンブリーズ・オブ・ゴッド教団教会教育部にあります。

教 師 ノ ー ト

| | |
|----------------------------|---|
| 日付 | 2011年11月 6日 |
| 単元 | ヨシュア記 |
| テーマ | 神の約束／祝福 |
| タイトル | ヨシュアへ神様の約束 |
| テキスト | ヨシュア1:1-18 |
| 参照箇所 | 出17:8-16、24:12-14、32:17、33:11、民14:30、申1:38、34:9 |
| 暗唱聖句(教会で使用している聖書訳を記入して下さい) | ヨシュア1:5 |
| AG 日曜学校教案参照箇所 (リンクできます) | |

□導入

私たちは新しいことをしようとするときには、勇気が必要です。そしてその新しく始めたことがうまくいくようにと心から願っています。

今日のお話はヨシュアというイスラエルの新しいリーダーのお話です。神様はヨシュアにこれから進むべき道をお話になりました。それとともに、素晴らしい約束をお与えになったのです。神様はどんな約束をヨシュアにしたのでしょうか？

□ポイント1 神様はモーセの後継者としてヨシュアを選ばれました

イスラエルの民が、エジプトを出発して長い旅をしていたのを覚えていますか。なんとその旅は四十年も続きました。この長い旅はイロイロなことが起こり本当にたいへんでした。その旅のリーダーはモーセでした。モーセに従ってイスラエルの民は、様々な問題を乗り越えてきました。そして神様が約束して下さったカナンの地を目指して旅をしてきたのです。

ところが、ずっとみんなを導いてきたモーセが、カナンに到着する直前に、百二十歳で死んでしまいました。モーセが死んでしまったので新しいリーダーがイスラエルには必要です。神様が約束して下さったカナンの地はもうすぐそこです。目の前に流れる大きなヨルダン川を渡ったら、この旅は終わるのです。

神様は新しいリーダーをお選びになりました。それはいつもモーセの近くにおいて忠実にお手伝いをしてきたヨシュアでした。ヨシュアがモーセと一緒にいた時間は、リーダーになるための準備の期間となりました。ヨシュアはモーセを見て神様に頼るという大切なことを学びました。

神様はヨシュアに「あなたが新しいリーダーです。」と言いました。ヨシュアは自分がリーダーとして、モーセのようにイスラエルの民を導く事ができるようにと願いました。

□ポイント2 神様はヨシュアにこれから進むべき道をお話になりました

神様は、新しいリーダーのヨシュアに、はっきりとこれから進むべき道をお話になりました。「さあ全ての民とヨルダン川を渡り、わたしがイスラエルの民に与えようとしている地に行きなさい」

ヨルダン川はパレスチナを南北に流れる大きな川です。その川を渡るように神様は命じられたのです。このヨルダン川を渡ることは、本当にたいへんなことでした。ちょうど季節は、春の刈り入れの頃でしたから、雪解け水もあり、水は岸までいっぱい簡単には渡れそうもありません。ヨルダン川を渡れば神様が約

束して下さった土地です。長い旅のゴール地点です。神様は前に進みなさいと言われたのでした。

また、神様はヨシュアに「ただ強く、雄々しくあって、わたしのしもべモーセがあなたに命じたすべての律法を守り行いなさい。これを離れて右にも左にもそれではなりません。そしてこの律法の書を、あなたの口から離さず、昼も夜もそれを口ずさみなさい。それを完全に守るよう心がけることです。」と言われました。

ヨシュアの前には大きな仕事がありました。イスラエルの民とヨルダン川を渡り約束の地に入ることでした。そしてそれと同じように彼がすべき大切なことは、神様の律法を忘れずに守るということでした。

□ポイント3 神様はヨシュアにすばらしい約束をお与えになりました

神様がヨシュアにお話になったのは、命令だけではありませんでした。すばらしい約束もお与えになりました。

神様は「モーセに約束したように。あなたがたが、足の裏で踏むところをすべてあなたたちに与える」と約束して下さいました。ヨシュアが神様に従って、新しい土地を自分の足で、自分の行動で一步一步進むならば与えられるというのです。

また神様はヨシュアに「あなたの神、主が、あなたの行く所どこにでも、あなたとともにいる。あなたを見放すことも、見捨てることもない。」と言われました。神様が共にいてくださる、これ以上の心強い約束はありません。神様は、ヨシュアが与えられた仕事をしっかりとやり遂げることができるように、励ましてくださったのです。

また神様はヨシュアと民が神様に従うなら、繁栄と成功と祝福を与えると約束されたのでした。

□結論 ヨシュアは神様の命令に従う決心をしました

□適用（聞き手に最もふさわしい適用が与えられるように祈りましょう）

1. ヨシュアに与えられた「わたしはあなたとともにいる。あなたを見放すことも、見捨てることもない」という約束は、あなたにも与えられた神様の約束です。あなたはこの約束が自分に語られていると信じることができますか？今日この約束が、自分に語られ与えられていると信じる(確信する)ことができるようにお祈りをしましょう。
2. 神様はヨシュアに、「あなたがたが、足の裏で踏むところをすべてあなたたちに与える」と約束して下さいました。新しい土地を自分の足で一步一步進むならば与えられる。という約束です。私たちにとって、一步一步とはなんでしょうか？礼拝に出席することや、聖書を読むことなど、他にもあると思います。その小さな一歩が私たちをすばらしい人生へと導いてくれるのです。神様の喜ばれる一步一步を、続けることができるようにお祈りしましょう。

教 師 ノ ー ト

日付 2011年11月13日

単元 ヨシュア記

テーマ 神の奇跡／従順

タイトル ヨルダン川を渡る

テキスト ヨシュア3:1-4:24

参照箇所

暗唱聖句(教会で使用している聖書訳を記入して下さい)

イザヤ43:2

AG 日曜学校教案参照箇所 2 所 (リンクできます)

□導入

今日は、イスラエルの民がヨルダン川を渡るお話です。イスラエルの民にとってヨルダン川は、神様が約束して下さった土地へ行くために、どうしても渡らなければならない川でした。しかしヨルダン川はとても大きな川です。イスラエルの民はどうやって川を渡ればよいのでしょうか？

神様は不思議な方法で、イスラエルの民にヨルダン川を渡らせて下さいました。それでは神様がどのようにして、ヨルダン川を渡らせて下さったのかをみていきましょう。

□ポイント1 イスラエルの民はヨルダン川を渡る準備をしました

イスラエルの民は、ヨルダン川から約10キロほど離れたシティムで野営をしていましたが、そこを出発してヨルダン川の近くまで来ました。

ヨルダン川の岸に来てから三日たった時、指導者たちはヨシュアから命じられたことをイスラエルの民に伝えました。「祭司たちが契約の箱をかつぎあげるのを見たなら、その後に従いなさい。契約の箱からは約900メートル離れて、それ以上近づいてはいけません。」

それからヨシュアはイスラエルの民に「身を清めなさい。神様があなたたちの中にすばらしい事をするからです」と言いました。

人々が準備をしている間に、神様はヨシュアに「私はモーセと共にいたようにあなたと一緒にいます。そして私がある人と一緒にいることを民にわかるようにします。」と言われました。そして次にする事をヨシュアに教えました。「契約の箱を担ぐ祭司たちにヨルダン川の中に入ったならそこで立ち止まらせなさい。」

ヨシュアは、イスラエルの人々を集めました。そして神様が自分に語って下さった言葉を伝えました。「神様の言葉を聞きなさい。生ける神様があなたがたのうちにおられます。神様はやがて占領する土地の全住民を必ず追い払ってくださるということが、きょう、はっきりわかるでしょう。いいですか。契約の箱が、先頭に立って、ヨルダン川を渡ろうとしているのです。箱をかつぐ祭司たちの足が川に入った瞬間、流れはダムでせき止められたように、止まるでしょう。まるで見えない壁があるように、水は盛り上がります。私たちは、ヨルダン川の底のかわいた地面を歩いて、約束の地に行くのです。」

□ポイント2 イスラエルの民は主の言葉に従ってヨルダン川を渡りました

さあ、いよいよヨルダン川を渡ります。川は、山の雪が解けて水が増え岸までいっぱいでした。

「契約の箱」を担いだ祭司たちは水ぎわへと進んで行きました。ヨルダン川の流れは全く変わってはいません。彼らは神様が奇跡を行われると信じていました。そして神様の命令通りヨルダン川の中に足を踏み入れたのでした。

イスラエルの民も、祭司が川の中に第一歩を入れるのを、じっと見つめていました。あたりはシーンとしています。その時です。不思議なことが起こりました。突然、川の水がずっと上流の方で、壁のようになってせき止められたのでした。そして川の中に道が現れたのでした。その道は向こうの岸まで続いていました。水が引き始めた時のイスラエルの民の喜びは、どんなだったでしょう。ヨルダン川は、みんなが歩いて行け

るくらい広い、かわいた道になりました。祭司たちは川にできた道を歩きました。そして川の真ん中に立ち止まりました。祭司が川の中央に立っている間に今度はイスラエルの民が渡りました。人々は、神様が下さった川の中の乾いた道を歩きました。少しも怖くはありませんでした。イスラエルの全ての民はヨルダン川を渡りきることができました。

□ポイント3 イスラエルの民はヨルダン川を渡った記念碑をたてました

イスラエルの民がヨルダン川を渡り終えると、神様は、ヨシュアにもう一つの大切な命令を出しました。それは、「イスラエルの十二部族から一人ずつ代表を出して、祭司たちが立っていた場所から一つずつ石を運んでくる」というものでした。ヨシュアは神様に言われたとおりに、十二部族から一人ずつ代表を出して、祭司たちが立っていた場所から一つずつ石を運ばせました。石を運び終えると、ヨシュアは祭司たちに川から上がるように命じられました。祭司たちも川を渡りました。契約の箱をかついだ祭司たちの足がヨルダン川からかわいた地に上がると同時に、ヨルダン川は元のように流れ出しました。イスラエルの民は、また前のように流れているヨルダン川の水を眺めながら、神様が助けて下さったことを考えていました。壁のようにせき止められた水、そして川の中につくられたかわいた道が、みんなの頭の中にやきついていました。あたりは神様を賛美する声、喜びの声でいっぱいでした。

ヨシュアはヨルダン川から取った12の石を、約束の地の新しく天幕をはった場所へ持って行って、積み上げました。そして人々に言いました。「あなたがたの子供たちが「これらの石はどんな意味がありますか」と尋ねたら、子どもたちに必ず教えなければなりません。それはイスラエルはヨルダン川の乾いたところを渡ったのだと。神様は人々がヨルダン川を渡る時、ヨルダン川の水をせきとめられた。その記念の石であると教えてあげなさい。」この石は、神様がイスラエルのためにしてくれた事を思い出すための記念碑です。

□結論 イスラエルの民は神様の奇跡によってヨルダン川を渡りました

神様の奇跡によってイスラエルの民はヨルダン川を渡ることができました。

□適用（聞き手に最もふさわしい適用が与えられるように祈りましょう）

1. 神様が約束して下さった土地に、イスラエルの人たちは入ることが出来ました。神様は約束したことを絶対に守られるお方です。あなたも神様から与えられている約束がありますか？その約束を信じる事ができるようにお祈りしましょう。

2. 神様は、ヨルダン川を渡る方法を、イスラエルの民にすぐにはお示しになりませんでした。しかしイスラエルの民は、自分たちには方法がわからなくても、助けてくださる神様を信頼し従いました。私たちにも神様は祝福の約束を下さっています。その具体的な方法がたとえわからなくても、神様を信頼し従うことが出来るようにお祈りしましょう。

教師ノート

| | |
|---------------|--|
| 日付 | 2011年11月20日 |
| 単元 | ヨシュア記 |
| テーマ | 従順 |
| タイトル | エリコの陥落 |
| テキスト | ヨシュア2:1-24、6:1-27 |
| 参照箇所 | 暗唱聖句(教会で使用している聖書訳を記入して下さい) マルコ9:23 or 申命記20:4 |
| AG 日曜学校教案参照箇所 | (リンクできます) |

□導入

先週は、イスラエルの民がヨルダン川を渡ったお話でした。今日はその続きのお話です。イスラエルの人たちがエリコという町を占領するお話です。イスラエルの人たちがどのように町を占領したのか、また神様がどのように助けて下さったのかを見ていきましょう。

□ポイント1 ヨシュアはエリコの町を探ることにしました

エリコの町は、ヨルダン川から西に約十キロ離れた大きな町でカナン征服の鍵を握っていました。イスラエルにとってこの町を攻め取ることがとても重要でした。

ヨシュアはエリコの町に二人の偵察隊を送りました。偵察隊はラハブという人の家に泊まりました。ところがエリコの王様に、偵察隊が忍び込んだことを通報する者があったのです。王様はさっそく、兵隊をラハブの家に行かせました。しかしラハブは、二人をかくまったまま、兵隊に「あの人たちならとくに帰りました。夕やみにまぎれて町から出て行ったみたいです。」と言いました。ところが実際は、二人を屋上に隠していたのです。そうとは知らず、兵隊は町の外へ探しに行きました。

ラハブは、屋上へ行き二人の偵察隊に言いました。「あなたたちの神様が、この地をあなたたちのものにしてしようとしていることは、よくわかっています。この町の住民はみんなこわがっています。それは、イスラエルの神様がエジプトで奴隷だったイスラエル人を救い出したことや、葦の海の水を二つに分けて渡らせたこと、さらにヨルダン川の流れを止めて人々を渡らせたことを聞いていたからでした。ですからイスラエルと聞いただけで震え上がってしまいます。もはや戦う勇氣を持っている人など一人もいません。そこでお願いがあります。エリコを占領する時、私の家族のいのちだけは助けてもらえないでしょうか。」二人は「私たちのことをしゃべらなければ、あなたも家族のいのちも助けましょう。」と約束しました。

ラハブの家は町の城壁の上にあったので、二人は綱で窓からつり降りしてもらいました。そして別れぎわにこう言い残しました。「この赤いひもを窓から垂らしておきなさい。そうすればこのひもを目印にこの家にいる人は助けます。」こうしてラハブは、窓から赤いひもを垂らしたままにしておきました。二人のスパイは山へ逃げ、三日間ひそんだ後山を降り帰って行きました。二人はヨシュアに一部始終を報告しました。「神様は、あの地を全部、われわれに下さいます。まがいがありません。住民はみな、私たちを死ぬほど恐れているのです。」

□ポイント2 神様からエリコの町攻略の作戦が語られました

さて、エリコの城門は堅く閉ざされていました。だれもがイスラエル人を恐れていたからで、人っ子ひとり出入りできないほどでした。

神様はヨシュアにエリコの町を占領する方法を教えてくださいました。「イスラエルの民よ、この戦いはすでに勝利している。町も人も、みなおまえたちのものだ。六日間、全軍を率いて、日に一度、町の周囲を回れ。そのあとに、ラツパを手にした七人の祭司、神の箱と続く。七日目には七度回り、祭司がラツパを吹き鳴らす。祭司がラツパをひときわ高く、長く吹き鳴らしたら、全員、大声でときの声をあげよ。町の城壁はく

ずれ落ちるだろう。その時、四方八方から町へ攻め込むのだ。」

ヨシュアは神様の言われた作戦が、不思議な作戦だと思いましたが、神様のお言葉を信じました。ヨルダン川を渡る時だって、神様は流れを止めてくださったのです。神様の方法は一番良い方法で、今度も神様が教えて下さったようにすれば、必ず助けてくださると思いました。

□ポイント3 イスラエルの民は神様の作戦に従いました

ヨシュアとイスラエルの民は、ヨルダン川を渡る時に神様の不思議な力を経験したばかりでしたから、少し疑わないで神様が命じられたとおりにしました。

行列の先頭は兵隊、次に角笛を持った祭司、そして「契約の箱」を担ぐ祭司、最後にイスラエルの民の順番で、町の周りを回りました。「わたしが『大声を上げろ』と言う時まで声を出してはいけない」とヨシュアから命じられていたので、みんな黙って歩き続けました。城壁の周りで聞こえているのは、祭司が吹く角笛の音と人々の足音だけです。「何をやる気なんだろう」と、エリコの人たちは不思議に思いました。

イスラエルの民は6日の間、毎日一回ずつ町の回りをしゃべることなく行進しました。

七日目になりました。この日は神様の命令どおりに、城壁の周りを7回行進するのです。1回、2回、3回と、イスラエルの人たちは、神様が言われたとおりにしました。そして7周回った時、祭司たちが角笛を長く吹き鳴らすと、ヨシュアはみんなに合図をしました。「さあ、みんなで一斉に大声を出しなさい。神様がこの町をあなたたちに与えてくださったのです。」

ヨシュアの合図で、イスラエルの民はみんなで大声で叫びました。「わーっ!!」「神様はこの町を下さった!!」「わーっ!!」するとどうでしょう。「ガラガラガラ！ゴーゴー！」と大きな音がして。町を囲んでいたりっぱな城壁が、崩れ落ちたのです。城壁には誰も指一本ふれていませんでした。

「今だー。突入！」イスラエルの人たちは、一斉にエリコの町を攻め、あっという間に町を占領しました。神様のおことばに忠実に従った結果与えられた、不思議な大勝利です。

エリコの町には、前にヨシュアが送ったイスラエルの偵察隊を助けてくれたラハブという女の人が住んでいましたが、約束したとおりに、彼女とその家族は無事に助け出されました。

□結論 イスラエルの民は神様の命令に従ったのでエリコの町を占領できました

□適用（聞き手に最もふさわしい適用が与えられるように祈りましょう）

神様は、私たちの考えとは全く違う方法で、イスラエルの民に勝利をもたらしてくださいました。私たちも何か問題が起きたとき、自分の考えにとらわれてあきらめてしまうことはないでしょうか。神様は、信じて従う人には、勝利を下さるお方です。あきらめてしまっていた問題があるなら、もう一度、神様を信じて祈ってみましょう。

教 師 ノ ー ト

| | |
|----------------------------|--------------------------------|
| 日付 | 2011年11月27日 |
| 単元 | ヨハネ 6:1-13 |
| テーマ | 罪の裁き |
| タイトル | アカの罪 |
| テキスト | ヨシュア7:2-26 |
| 参照箇所 | ヨシュア8:1-29 |
| 暗唱聖句(教会で使用している聖書訳を記入して下さい) | ルカ12:15 or ヨシュア7:19 or Iヨハネ1:9 |
| AG 日曜学校教案参照箇所 (リンクできます) | |

□導入

先週は、イスラエルの人たちがエリコという町を攻め取ったお話でした。神様の命令に従った時、エリコの壁がガラガラと崩れ勝利することができました。

今日は、その続きのお話です。イスラエルの人たちが今度はアイという町を攻め取るのです。神様はどんなミラクルを体験させて下さるのでしょうか？

□ポイント1 イスラエルはアイに戦いを挑み負けてしまいました

ヨシュアは、何人かのイスラエルの人に、「次に攻める町はアイだ。先に行って様子を見て来てくれ」と言いました。「了解しました」とその人たちは言って、アイの様子を見に出かけました。

しばらくして、アイの町を調べに行った人たちが帰って来ました。そしてヨシュアに報告をしました。「アイを攻めるのには全軍を行かせなくても大丈夫です。少ない兵隊で十分だと思います。小さい町ですから簡単に占領できます。」と言いました。

そこでヨシュアは、3000 人の兵隊だけを行かせることにしました。ヨシュアは「主が私たちと共にいて下さったから、エリコを占領することが出来た。主はまた私たちと共にいて、助けてくれるに違いない。必ず勝利して帰ってくるだろう」と思いました。

ところがなんと、イスラエル軍はアイに敗れてしまいました。逃げて帰って来たイスラエルの兵隊たちは、「ああ、もうだめだ。」と、みんなこわがって震えていました。

□ポイント2 ヨシュアは神様にお祈りをし負けた原因を知りました

ヨシュアは着物を引き裂いて悲しみ、地面にひれ伏してお祈りをしました。「神様、なぜ私たちが約束の地に入れながら、敵の手に渡して滅ぼそうとなさるのですか。敵に背を向けて逃げたということが広まってしまえば、イスラエルが弱いと思って周りの国々が攻めに来るでしょう。いったいこれはどういうことですか？」

ヨシュアのお祈りに神様が答えてくださいました。「立ちなさい。イスラエルは罪を犯したのです。あなたたちの中に私との約束を破り、ごまかした人がいるのです。エリコの町から、ある物を盗んで自分のものにしたのです。だから戦争は負けたのです。」「もしその罪をそのままにしておくなら、私はあなたたちと共にいることはできません」と神様は言われました。

じつはエリコの戦いの前に、神様はとても大切なことをイスラエルの人たちに命令していたのでした。それは「エリコの町から自分のために何一つ持ち帰ってはいけない。」また「金や銀、青銅の器などは、神様のための倉に納めなさい。」というものでした。ところがその約束を破った人がいる。というのです。ヨシュアは、エリコの町から誰かが何かを取って来たということをももちろん知りませんでした。神様の命令をみんな

がしっかりと守ったので、すべてうまくいった。と思っていたのです。

神様はヨシュアにどのように、民をきよめたらよいのかを教えてくださいました。「明日の朝、イスラエルの人々の中から、くじによって誰が罪を犯したか、私が教えます。」「そして、罪を犯した人が分かったら、その人もその人の所有物も民の中から取り除きなさい。」ということでした。

□ポイント3 ヨシュアは神様の言われたとおりに罪を取り除きました

次の日、ヨシュアは朝早く起きて、神様の言った通り、イスラエルの人たちを全員を呼びました。そして神様が言われたとおりに、部族ごとにくじを引き、ある氏族が当たりました。今度はその氏族の中から家族ごとにくじを引きました。するとある家族が当たりました。最後にその家族の男の人が一人一人くじをひきました。最後にアカン一人が残りました。

そこでヨシュアはアカンに「わが子よ、神様の前に自分のした事を告白しなさい。」と言いました。アカンはヨシュアに答えました。「私は神様の前に罪を犯しました。エリコの町から、金と銀と美しいコートを取り、私のテントの下の地面に隠してあります。」

ヨシュアはアカンの話を聞いて、家来にアカンのテントを調べに行かせました。家来はアカンのテントへ行って、地面の中からアカンが盗んだ物を見つけました。そこで家来は急いでヨシュアのところへ帰って来て、「ありました」と叫びました。ヨシュアはそれを見て、集まったイスラエルの人たちに、「私たちは神様の言われるように、アカンを罰しなければならぬ」と言いました。

ヨシュアは、アカンと家族と持ち物全部をイスラエルの宿営の外に持って行って、石を投げるように命令しました。

アカンは恐ろしい罪を犯したので、その責任を負って、さばきを受けて死ななければなりませんでした。

□結論 神様は罪を裁かれるお方です

適用（聞き手に最もふさわしい適用が与えられるように祈りましょう）

1. アカンは神様の命令を破ってしまいました。私たちも「誰も見ていないから大丈夫。」とってしまうことありませんか？人の目はごまかすことができても、神様の目をごまかすことはできません。神様の前に正しく生きることができるようにお祈りをしましょう。

2. アカンは、盗んだことが問題になったとき、自分から謝ることをしませんでした。私たちも、悪いこと(罪)をしてしまったとき、自分から謝ることができないような弱さを持っています。そんな弱さや、悪いこと(罪)をしてしまう私たちのために、イエス様は十字架にかかって下さったのです。私たちが自分のした悪いこと(罪)に気づいて、私たちの身代わりに罰を受けて下さったイエス様を信じるならば、私たちは赦されるのです。いまイエス様の前に、悪いこと(罪)をしたことが示されたならば、自分の言葉で「ごめんなさい。」とお祈りをしましょう。